

とっとり産業フェスティバル2009 ポスター発表要旨

テーマ

袋川水辺におけるスナヤツメ・アカハライモリ等の希少動物の生息地再生の実践的試み

発表者

小林朋道 鳥取環境大学 環境情報学部 環境マネジメント学科 教授

**概要** 研究の目的は、近年、生息地の人為的な破壊により、その生息地および個体数が急激に減少しつつある、希少動物を含む水辺水生動物の生息地を創出することであった。1年をかけて、樋門前の「円形溜り+水路」構造型生息地と、それを樋門が存在しない河川敷に応用した生息地を創出し、これまでのところ、前者にはアカハライモリやメダカといった希少種をはじめとした多種の水生動物の侵入・定着を確認している。

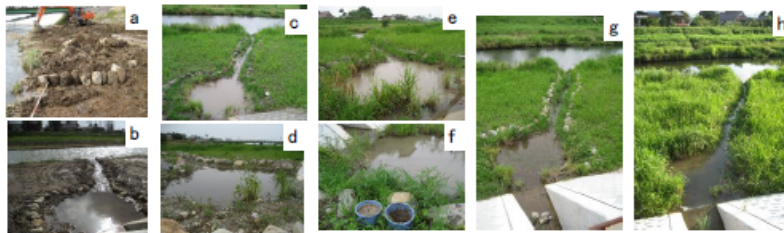
**目的および現在までの実施状況** 1年をかけて、樋門前の「円形溜り+水路」構造型生息地(図1)と、それを樋門が存在しない河川敷に応用した生息地(図2)を創出し、これまでのところ、前者にはアカハライモリやメダカといった希少種をはじめとした多種の水生動物の侵入・定着を確認している(図3, )。

図1



樋門

①



②

水生動物 / 日付	4/24	5/1	5/8	5/16	5/25	6/1	6/8	6/13	6/20	6/27	7/3	7/10	7/18	7/28	8/6	8/15	8/24	8/30	9/8
カワニナ																			
ミナミヌマエビ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
モクズガニ																			
サワガニ																			
ヤゴ(カワトンボ)		○	○	○		○	○			○									
固定不能の稚魚																			
ドンコ																			
ヨシノボリ類																			
メダカ															○	○	○	○	○
ムギツク																			
シマドジョウ									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ドジョウ												○	○	○	○	○	○	○	○
オイカフ												○	○	○	○	○	○	○	○
ツチガエル												○	○	○	○	○	○	○	○
トノサマガエル		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アカハライモリ																			◆

「円形溜り+水路」構造型生息地への水生動物の侵入・定着の経過。  
 ○は動物が溜まりで捕獲されたことを示す。◆は、30匹のアカハライモリを、第4宮ノ下排水樋門から約2km上流にある樋門(麻生排水樋門)の周辺水場で採集し、溜まりに放したことを示す。

**【来場者へのメッセージ】** 生物の多様性が豊かな環境は、結局は我々の毎日の生活にも精神に健康な発達・維持にもプラスになります。豊かな河川環境の再生の活動に、ご理解とご支援をお願いします。

連絡先: 鳥取連絡先: 鳥取環境大学環境情報学部環境マネジメント学科 教授 小林朋道  
 鳥取市若葉台北1-1-1 TEL.0857-38-6761 E-mail: t-kobaya@kankyo-u.ac.jp

分野	生物	プレゼンタイム	無
----	----	---------	---